

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)		
事務事業名	老人福祉事業経費	事業番号	70
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	高齢者・老人クラブ連合会・老人クラブ・高齢者福祉事業団
	対象者の今後の予想	高齢者自体は減少していく
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	地域包括ケアシステム構築のため、高齢者の積極的な外出や社会参加、安定した生活本拠への支援を行い、高齢者が安全安心に生活する環境を整える。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	長寿のお祝い、福祉バスによる社会参加の支援、老人クラブへの補助、養護老人ホームへの措置など、高齢者の豊かな生活への支援を行い、より住みやすいまちを目指す。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (R2)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 養護老人ホーム措置者数	75人	67人	68人	66人	75人	73人	75人	75人
2 老人クラブ会員数	1,386人	1,686人	1,616人	1,522人	1,386人	1,386人	1,400人	1,400人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R3予算		R3決算		R4予算		
		129,762		123,141		140,381		
内訳	国道支出金	4,059		1,215		4,059		
	地方債							
	その他	27,597		28,366		28,458		
	一般財源	98,106		93,560		107,864		
人員(人工)		0.42		0.42		0.42		
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)		3,236		3,236		3,236		
総事業費(=事業費+職員人件費)		132,998		126,377		143,617		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		1,822		1,731				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		96		91				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	いずれも、高齢者の豊かな生活に必要であり、ニーズは高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 従来より取り組まれている事業で、これまで見直しされた結果、残った事業であることを踏まえ、高齢者の豊かな生活の支援策として老人福祉の向上につながってきている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 地域包括ケアシステムの一環となる事業であり、市がおこなうべき。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 養護老人ホームの措置は老人福祉法によるもので、本人に応分の負担があるが、他はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続（ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替） <input type="checkbox"/> 終期設定あり（R 年度末終了予定） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)		
事務事業名	老人福祉センター整備事業	事業番号	11080
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	60歳以上の市民
	対象者の今後の予想	減少していく
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	老人福祉センターの備品整備、改修をおこない、利用者の利便性を向上する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	老人福祉センターの利用を通じて、社会参加の促進、介護予防や健康寿命の延伸につなげる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H30)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 1日当たりの延べ施設利用者数	86人	-	72人	76人	73人	91人	90人	95人
2 利用者アンケートで施設内の整備について「使いやすい」と感じる割合	83%	-	75%	76%	76%	89%	85%	90%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				1,820		1,903		5,789
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			1,820		1,820		
	一般財源					83		5,789
人員(人工)				0.08		0.08		0.08
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				616		616		616
総事業費(=事業費+職員人件費)				2,436		2,519		6,405
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				27		28		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				27		28		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	老人福祉センターの機能のあり方、他の施設との複合化などを検討。
今後の動向・市民ニーズなど	利用者や指定管理者の老人クラブ連合会から光洋の老人福祉センターの建て替えの嘆願が出ている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない マッサージ機の更新など、健康づくりに寄与している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市が所管する施設の整備であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 光洋町の老人福祉センターは築50年に達しており、利用者等からも新築の要望があり、新しい施設を検討する時期に来ている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない -
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない -
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある -

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)		
事務事業名	高齢者バス優待乗車券等交付事業	事業番号	12595
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	70歳以上の高齢者。
	対象者の今後の予想	運転免許を返上した高齢者の増加により、利用者増が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	高齢者が、趣味、学習、仕事等を通じて、いつまでも社会参加ができるよう移動手段の経済的負担を支援する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	元気な高齢者が積極的に社会参加することにより、孤立や孤独を防ぎ、地域とのつながりの中で、生きがいをもって生活していただく。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 高齢者バス優待券乗車券利用率	-	32.0%	34.1%	34.8%	34.6%	35.8%	45.0%	50.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				17,344		17,362		17,346
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			17,344		17,344		17,346
	一般財源					18		
人員(人工)				0.08		0.08		0.08
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				616		616		616
総事業費(=事業費+職員人件費)				17,960		17,978		17,962
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				502		502		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	令和3年度以降、ふるさと応援基金により、1乗車につき100円の利用者負担を維持する。
今後の動向・市民ニーズなど	乗用車の運転免許証を保有する高齢者の加齢にともない、免許を返納するケースが増加、バスやJRの公共交通機関に移動手段を求めるなか、便数の減少や路線の廃止が懸念されている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 路線バスやJRは高齢者の移動手段として欠かせないものがある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 車輛による移送業務のため、路線バスやJR以外の移送手段により民間事業者等でも実施が可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない バス会社との包括的契約とJRの規定料金に応じて負担している。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 今後においても、路線バスやJRが高齢者の移動手段として利用できるよう、本事業を継続していく。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 路線バスの利用時、1回の乗車につき100円を負担いただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)		
事務事業名	高齢者見守り支援事業	事業番号	12898
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	65歳以上の高齢者(一部、障がいのある方も含む)
	対象者の今後の予想	大幅な増加はないが、加齢による身体的衰えが進む。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	地域包括ケアシステムの構築のため、声かけ、見守り等の地域コミュニティづくりにより高齢者が安心・安全に生活できる環境を整える。高齢者見守りボランティア、除雪サービス、福祉除雪活動助成、外出支援サービス、ヤクルト配布時の安否確認サービス、緊急通報システム、ユニバーサルデザインタクシー導入補助。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	緊急時の見守り体制、除雪のサポートなど、高齢者の生活面の不安を和らげ、ユニバーサルデザインタクシーの整備で利用者の身体状況に関わらない移動手段を確保するなど、高齢者が住みやすいまちを目指す。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(R2)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 高齢者見守りボランティア登録者数	団体27件 個人102件	団体6件 個人80件	団体9件 個人80件	団体17件 個人93件	団体27件 個人102件	団体30件 個人103件	-	団体33件 個人124件
2 除雪サービス利用者数	245人	269人	265人	261人	246人	232人	-	270人
3 福祉除雪活動助成者数	団体13件 個人2件	-	-	-	団体13件 個人2件	団体13件 個人4件	-	団体20件 個人10件
4 外出支援サービス利用者実数	127人	154人	123人	136人	127人	108人	-	150人
5 安否確認サービス利用者数	555人	632人	587人	573人	559人	545人	-	555人
6 緊急通報システム利用者数	協力型175件 駆付型20件	協力型194件 駆付型8件	協力型190件 駆付型15件	協力型185件 駆付型15件	協力型176件 駆付型20件	協力型171件 駆付型20件	-	協力型175件 駆付型20件
7 市内タクシー業者におけるユニバーサルタクシー(車椅子対応含む)の割合	11.9%	-	-	9.5%	11.9%	10.2%	-	11.9%
事業費(=下記内訳計)			R3予算		R3決算		R4予算	
			35,321		31,713		33,174	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他				35,321		31,713	
	一般財源							
人員(人工)					0.50		0.50	
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)					3,852		3,852	
総事業費(=事業費+職員人件費)					39,173		35,565	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					295		267	
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					169		153	

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	いずれも、独居、高齢者のみ世帯を問わず、生活に直結する事業であり、ニーズが高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 支援を求める側と支援する側とも事業に対する関心度、協力度が高まっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 地域包括ケアシステムの構築を目指す事業であり、民間の協力を受けながら市がおこなうべき。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 介護サービスとの併用を含め、独居高齢者の安否確認については効率的な回数の設定が必要。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 支援を必要とする高齢者は増加しており、身体的、親族の有無等を加味し、適正なサービス提供のあり方を検討する。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 法定の介護サービスへの統合はできない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 高齢者サービスに受益者負担を求めることについては慎重に検討を要する。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月